

大規模地震発生時の初動時のへり等による 情報収集・情報共有体制の構築

(事務局:中部地方整備局)

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による情報収集・情報共有体制の構築

■検討の背景

南海トラフ地震等の大規模地震発生時は、**早期に広範な被災状況を正確に把握**することが、その後の体制を構築する上で極めて重要であり、東日本大震災において、広範囲の情報を素早く把握できる防災ヘリコプター等の活用の有用性が認識されたところである。

しかし、より素早く、効率的に広範囲の情報を把握するためには、防災ヘリコプター等を所有する**関係機関が連携し、情報収集・情報共有体制を構築**することが必要である。

(※南海トラフ地震対策中部圏戦略会議平成26年度活動計画のひとつ)



◎ワーキング設立（平成26年10月28日）

関係機関が連携した大規模地震発生初動時（発災後概ね24時間内）の情報収集・情報共有体制について検討を実施。

■構 成 員

◆構成員

- 中部管区警察局
- 第四管区海上保安本部
- 陸上自衛隊第10師団／○航空自衛隊中部航空方面隊／○航空自衛隊第1輸送航空隊
- 愛知県／○三重県／○名古屋市
- 愛知県警察本部／○三重県警察本部
- 中部地方整備局

◆オブザーバー

- 大阪航空局中部空港事務所

※今年度は、中部管区警察、陸自10師団、第四管区海保の管轄エリアで被害が大きいと想定される愛知、三重県内の機関を対象。次年度以降、静岡県、岐阜県等に拡大予定。

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による 情報収集・情報共有体制構築ワーキング

■検討経緯

ワーキング準備会

平成26年9月9日

■基本的な検討項目、スケジュール等の確認

第1回 ワーキング

平成26年10月28日

■各機関の機体の能力や目的を整理した「ヘリ等調査項目一覧表」
(台数、諸元、飛行ルート、夜間飛行の可否、ヘリテレ等装備、搭載無線(周波数)、他機関との
協定(燃料、映像、相互応援等)、燃料種類・備蓄、発着場、課題等)

■上記調査や東日本大震災の課題より抽出した「検討すべき連携項目
(6項目)」及び今年度の検討項目の合意

第2回 ワーキング

平成26年12月11日

■検討の成果の確認・共有

(災害時連絡先一覧表の作成、中部圏重ね合わせ図【ヘリ等ver】の共有、航空燃料の搬送流れ図の
作成・共有)

■来年度の検討・実施項目の合意

(連絡体制の構築、ヘリ等の位置情報共有の検証、既存の映像共有体制の拡大)

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による 情報収集・情報共有体制構築ワーキング

■検討すべき連携項目の検討状況等

連携項目 ※赤字:今年度検討項目	成果目標	検討内容・状況・結果
①連絡体制の構築	・災害時の関係機 関連絡体系(活動状 況把握、活動調整等に 資する)の作成	■災害時連絡先一覧表の作成 ■愛知県(災害情報センター航空運用プロジェクトチーム)、 三重県(航空運用調整班)に関する情報共有(目的、所掌事 務、調整事項、訓練内容等)
②ヘリ等を使用できない 場合の対応(耐空検査・ 夜間などの相互補完)	・申し合わせ・協定等 の合意	※今年度は、各機関のヘリ情報を整理し共有
③ヘリ等災害活動 の安全確保 (ヘリ等の位置情報共有 等)	・ヘリ等位置情報の 共有等	■中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※管制圏、管制区、情報提供エリア、周波数 ■航空自衛隊「災害発生時における航空集中時の 情報提供要領」の情報共有
④燃料備蓄と共有 体制の構築	・備蓄燃料の共有 体制 ・燃料供給業者の 連絡体制	■中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※駐屯地等 ■航空燃料の搬送流れ図の作成・共有 (名古屋飛行場、津市伊勢湾HP)
⑤(非公共)ヘリ ポートの共用	・(非公共)ヘリポー トとの共用の合意	■中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)の共有 ※想定飛行ルート、発着基地(常用、非常用)、非公共ヘリポート
⑥映像共有の体制 (申し合せ等ソフト面、 通信設備等ハード面)	・既存の映像共有体 制の拡大等	※今年度は、各機関のヘリ情報を整理し共有

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による 情報収集・情報共有体制構築ワーキング

■ 中部圏重ね合わせ図(ヘリ等ver)

大規模地震等の発生時に、人命救援・救護、災害ロジスティクス機能、産業への影響等を最小限にとどめるためには、重要度の高い拠点への確実な啓開をする必要がある。

そのために、昨年度より、**災害時(物流に係る)重要拠点**(基幹的広域防災拠点、広域防災拠点、公的物資拠点、民間物資拠点、医薬品備蓄場所、災害拠点病院、主要製造事業所、工業団地、エネルギー関連など産業インフラ拠点)について、「くしの歯作戦」や「くまで作戦」の優先啓開経路の見直しの検討に資する資料として、**拠点一覧表及び重ね合わせ図**の整理、充実を図っている。



- ・既存の「くしの歯作戦」、重要拠点等の情報と本WGで得られた情報を**一つの重ね合わせ図**として、**関係機関で共有**を図る。
 - 広範囲な情報の速やかかつ効率的な把握に資する情報共有の基礎資料として活用
 - 状況把握後の速やかな人命の救援・救護活動等の基礎資料として活用
- ・今後、随時、関係機関で共有すべき情報について、追加等の充実を図る。

大規模地震発生時の初動時のヘリ等による 情報収集・情報共有体制構築ワーキング

■平成27年度の検討・実施内容及び今後の課題

連携項目	平成27年度、検討・実施内容及び今後の課題
①連絡体制の構築	■連絡体制の構築 ※特に横断的な広域調整体制が設置されるまでの県域を超えた連絡体制が必要 ・今まで実施している県災害対策本部運用訓練(ヘリ等の運用訓練)にて活動状況把握・活動調整等を実施。併せて情報伝達訓練を実施。
②ヘリ等を使用できない場合の対応 (耐空検査・夜間などの相互補完)	■相互補完の可能性の検討
③ヘリ等災害活動の安全確保 (ヘリの位置情報共有等)	■ヘリ等の位置情報共有の検証(大阪航空局との連携) ・航空自衛隊の情報提供要領を活用した訓練の実施
④燃料備蓄と共有体制の構築	■陸上自衛隊の給油手順の確認 ■民間航空燃料供給業者との協定等の検討
⑤(非公共)ヘリポートの共用	■ヘリポート共用(手続きの確認、協定・申し合わせ等の締結)の検討 ■場外ヘリポートの災害時における活用の可否等の整理
⑥映像共有等の体制 (申し合せ等ソフト面、通信設備等ハード面)	■被災情報の共有 ■既存の映像共有体制の拡大

■県営名古屋空港は、基幹的広域防災拠点として、広域防災拠点WGにおいて、燃料補給・通信設備・駐機スペース等について、別途、検討が進められており、両WGが連携を図っていくことが必要。

※H27年度は、岐阜県、静岡県等に拡大予定。

重ね合わせ図イメージ(ヘリ等ver.)

